

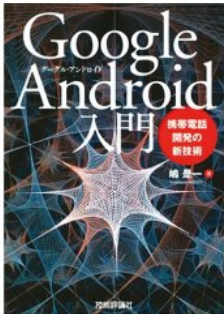


Android勉強会 第二回マニアックス アンドロイドで変わる携帯電話

2008年 5月 26日
嶋 是一

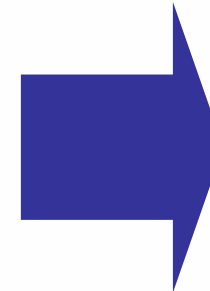


- 嶋 是一
- (株)カシオ日立モバイルコミュニケーションズ
- 主な活動
 - 「Google Android入門」著者



技術評論社より2008年4月23日出版

- 本日出版一ヶ月目の登壇となり偶然!
- <http://gihyo.jp/book/2008/978-4-7741-3462-8>
- 編集者 池本さん(Java系でも有名)



個人的な趣味です!

- MCPCモバイルシステム技術検定委員
 - MCPC : モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
 - MCFではありません 汗;
 - <http://www.mcpc-jp.org>
 - モバイルシステム技術検定試験 テキストSWG副主査

自己紹介 駄文



•ネタヒットした方、肴にして酒飲みましょう!

■ ブログやっています

- PlaggerでLivedoor BLOGからmixiへ自動投稿する野良プラグイン
- 気象観測装置購入してアマチュア無線APRS装置でGPSデータと観測値を配信している
- Podcastでピアノ音楽配信。目指せ一日一曲!!(実際は週に2曲程度)
- 音楽ネタ、グルメネタ、酒のネタ

■ 昔のガレキ

- 日記鯖
- 朝日奈アンテナ
- Midi.co.jp

■ 雑誌とか執筆歴(もう記憶が...)

- 技術評論社
 - Windows NT Press、Programming Press、Mobile Press、Web+DB Press
- BNN
 - Windows NT World、DTMマガジン(現在寺島情報企画)
- アスキー
 - Open Networks
- 工学社
 - I/O
- 電波新聞社
 - Computer music magazine

■ 書籍

- iモードかんたんHP(ホームページ)作成 ナツメ社
- EZwebホームページ制作完全マニュアル 嶋 是ー アスキー
- ケータイで見るWebページの作り方—iモード&cdmaOne(EZweb EZaccess)対応 アスキー



■ 共著

- ワイヤレスブロードバンド教科書(初版) IDGジャパン
- モバイルシステム技術テキスト エキスパート編—MCPCモバイルシステム技術検定試験1級対応 リックテレコム
- モバイルシステム技術テキスト—MCPCモバイルシステム技術検定試験対応 リックテレコム
- ネットワークの教科書 [TCP/IP基本編] 2005年版 (ビギナー必携の入門書) IDGムックシリーズ IDGジャパン
- ケータイ用ホームページを作ろう—iモード/EZweb/J-スカイウェブ/H“全部まるごと対応 エーアイ出版
- コンピュータと音楽の世界—基礎からフロンティアまで 共立出版
- 図解ネットワーク基礎超入門 IDGジャパン



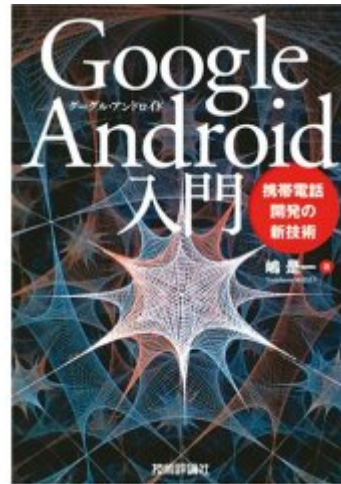


- Androidの「技術一般的な解説記事」はかなり増えてきました。
- 本日は携帯電話市場の視点から見たAndroidとその技術の解釈の仕方について説明します
 - 実はAndroid入門の1章がそのような位置づけです
 - かなり私の「思い」も大きいのでオーサライズされていない部分をご容赦下さい





- 基本的に書籍「Google Android入門」で書いている内容をリライトしているだけです



- 興味持たれた方は是非一度お読み頂けると幸いです



図1.7 Androidのアーキテクチャ図

下がハードウェアに近い層で、上がアプリケーション。上にゆくほどユーザインターフェイスに近い層である。Linuxカーネルを土台に複数のコンポーネントで構成されている（出典はAndroid SDKより）。

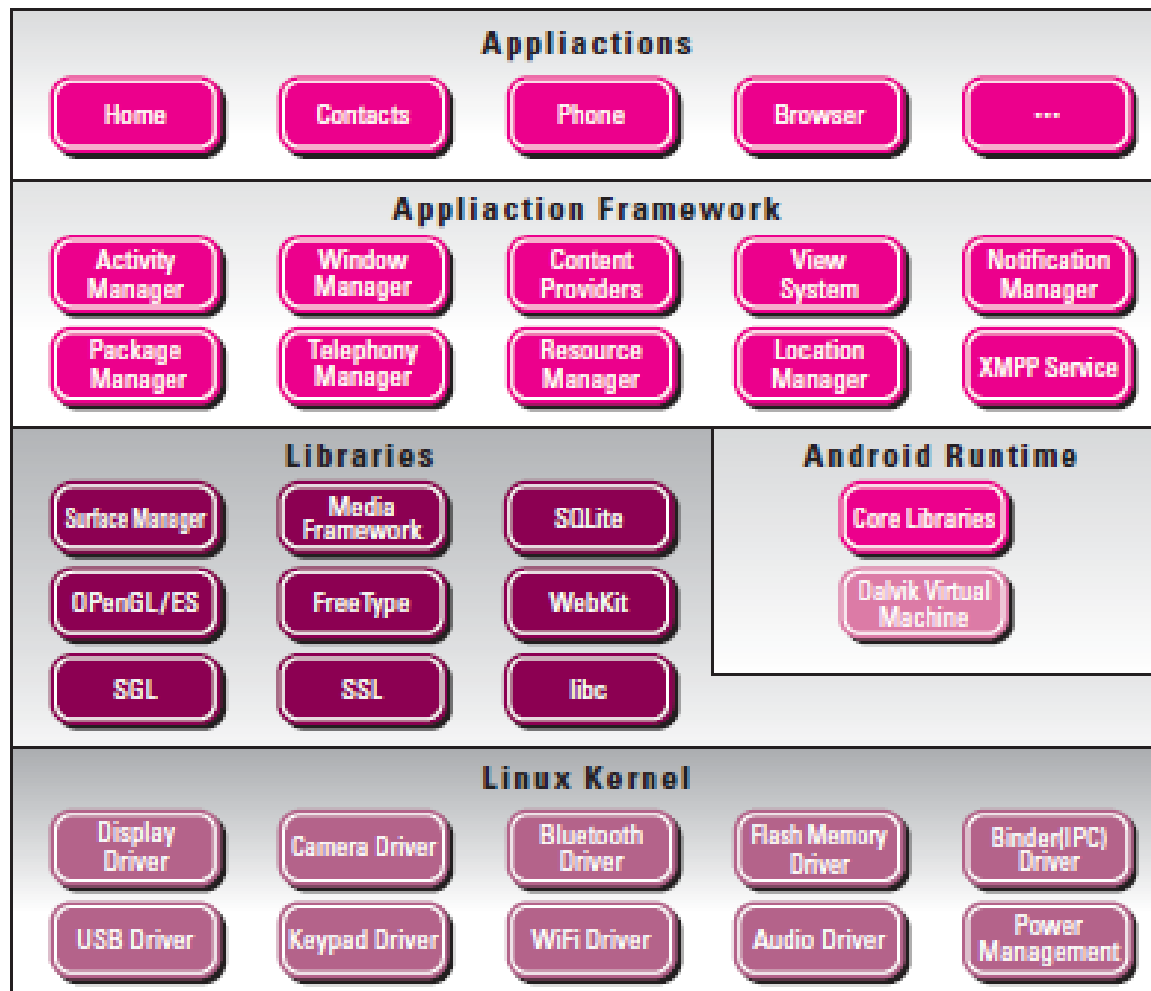




図1.6 Androidシステム

携帯電話のデバイスに特化したドライバごとの差異をLinuxカーネルで吸収している。アプリケーションは携帯電話に最適化されたDalvik VM上で動作する。

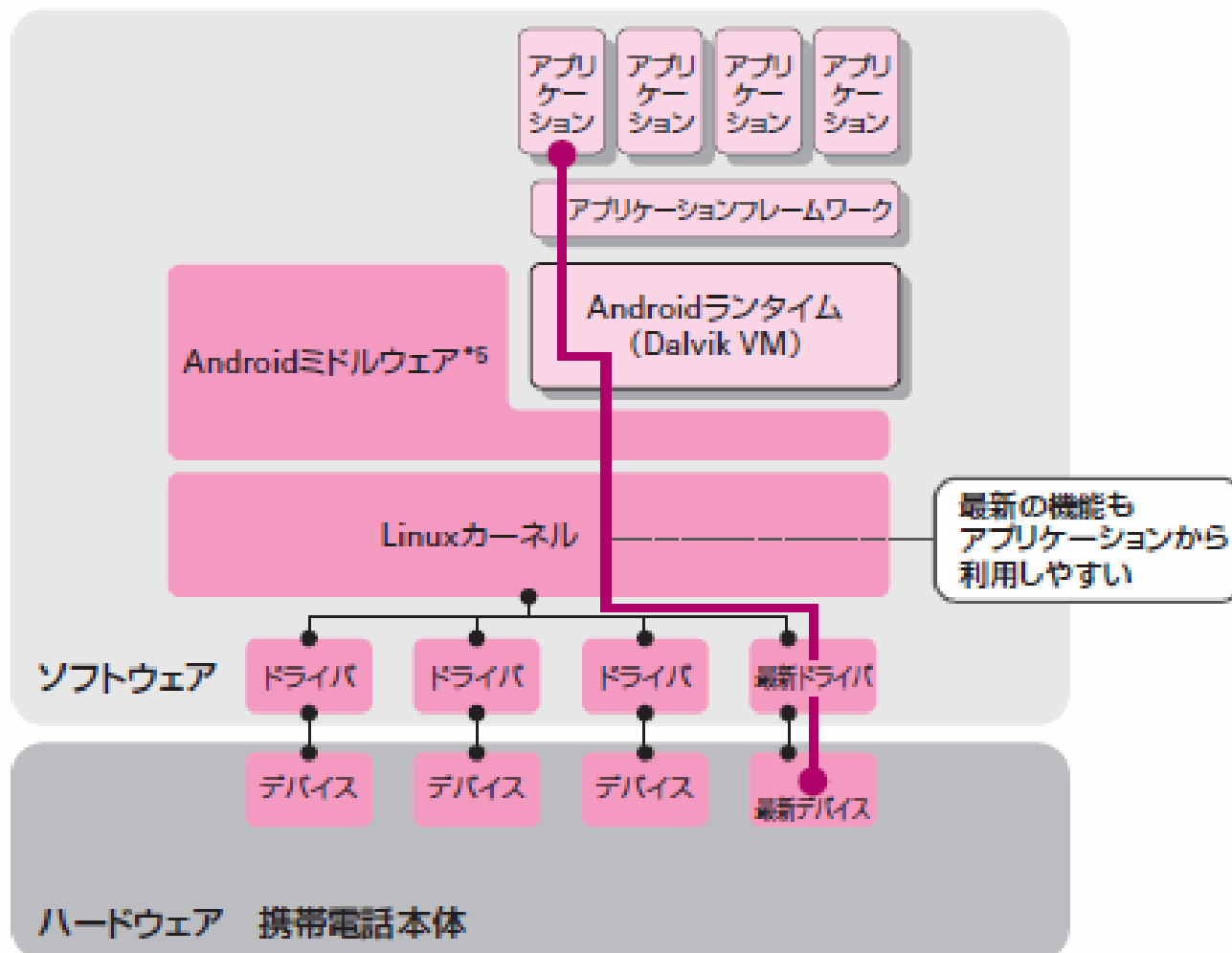
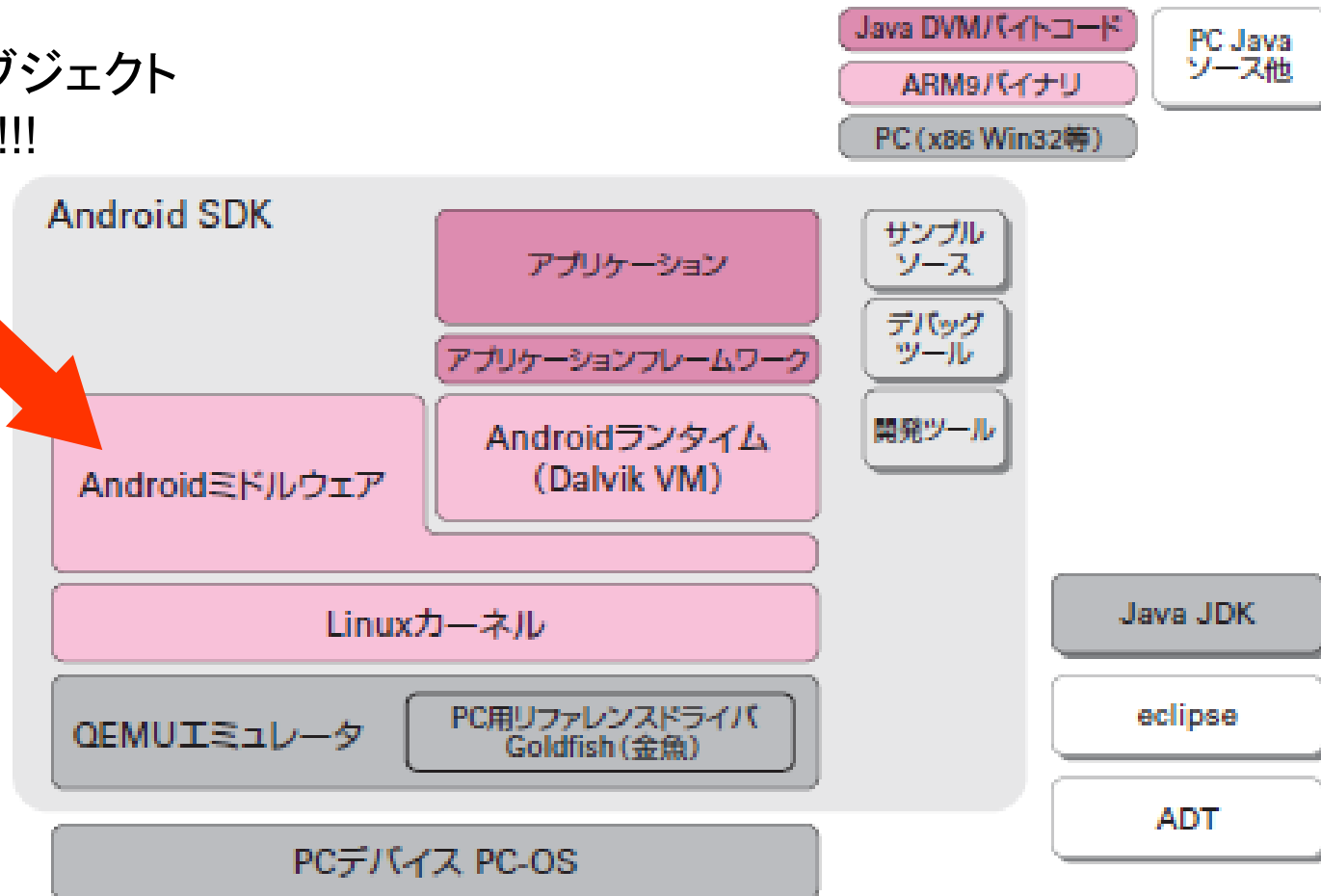




図1.15 Googleからの提供バイナリの分類

提供されているバイナリの形式は、DVM形式、ARMバイナリ形式、PC (x86) 形式の3タイプがある。

ココがARMオブジェクト
なのがポイント!!!





Androidは携帯電話をオープンにできるツール

既得権の撤廃!

- 聖域無きアプリケーション
 - 全てのアプリケーションは平等であり、プラットフォーム的な制約は無い
 - (ex待ち受けアプリを入れ替える等)
- 流通ソフトウェアもオープンに
 - 専用配信サーバを用いなくてもアプリケーションの流布可能。基本的にマッシュアップの考え方
- ソースも公開に
 - ブラックボックスがあるとそれを知る人が有利になるが、ソースがオープンならばブラックボックスがない
- 組込開発の自由化
 - 組込の世界はハード知識前提だったが、抽象化することによりオープンな組込開発環境が提供できた
 - 今までもオープンな組込環境はあったが、ハードウェアが限定されるため広がりがなかった



Androidは携帯電話をオープンにできるツール

既得権の撤廃!
なのだが

■ 聖域無きアプリケーション

- 全てのアプリケーションは平等であり、プラットフォーム的な制約は無い
 - (ex待ち受けアプリを入れ替える等)

Androidだけでは
解決しない

■ 流通ソフトウェアもオープンに

- 専用配信サーバを用いなくてもアプリケーションの流布可能。基本的にマッシュアップの考え方

■ ソースも公開に

- ブラックボックスがあるとそれを知る人が有利になるが、ソースがオープンならばブラックボックスがない

Androidの実力
で解決する

■ 組込開発の自由化

- 組込の世界はハード知識前提だったが、抽象化することによりオープンな組込開発環境が提供できた
- 今までもオープンな組込環境はあったが、ハードウェアが限定されるため広がりがなかった

→ 「携帯電話をオープンにするツール」とは
必ずしも言えないところがツライ!



Androidは携帯電話をオープンにできるツール

Androidで実現したいこと

Android単体で
実現できること

Androidで可能だが
外的条件が必要なもの

Androidは関係なく
外的環境が変わることで
実現したいこと
(理想・希望)

技術 開発環境

市場 ビジネス

実機が最低条件

作れるけど運用できないよ

まだ情報整理させていないので
世の中にこの区分分けされないまま
議論が混乱している



Androidは携帯電話をオープンにできるツール

Androidで実現したいこと

Android単体で
実現できること

Androidで可能だが
外的条件が必要なもの

Androidは関係なく
外的環境が変わることで
実現したいこと
(理想・希望)

実機が最低条件

技術 開発環境

市場 ビジネス

作れるけど運用できないよ

まだ情報整理させていないので
世の中にこの区分分けされないまま
議論が混乱している

■ ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



Androidのブレークする予感？

- Andoirdの現在は、EZwebやiモードの携帯ブラウザ初期と似ている

■ 携帯ブラウザ以前のコンテンツ配信



電話会社
情報配信サーバ

■ ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



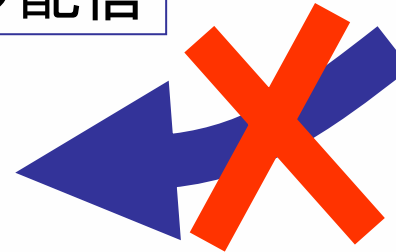
Androidのブレークする予感？

- Andoirdの現在は、Ezwebやiモードの携帯ブラウザ初期と似ている

■ 携帯ブラウザ以前のコンテンツ配信



電話会社
情報配信サーバ



情報なし
承認
投資

■ ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



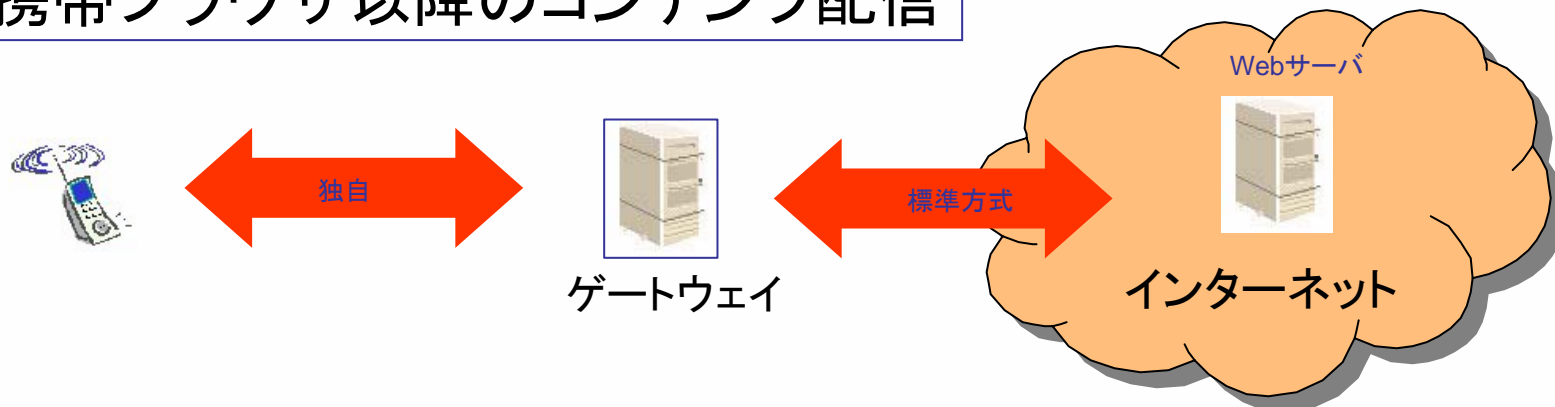
Androidのブレークする予感?

- Andoirdの現在は、Ezwebやiモードの携帯ブラウザ初期と似ている

■ 携帯ブラウザ以前のコンテンツ配信



■ 携帯ブラウザ以降のコンテンツ配信



■ ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



Androidのブレークする予感?

- Andoirdの現在は、Ezwebやiモードの携帯ブラウザ初期と似ている

■ 携帯ブラウザ以前のコンテンツ配信



■ 携帯ブラウザ以降のコンテンツ配信



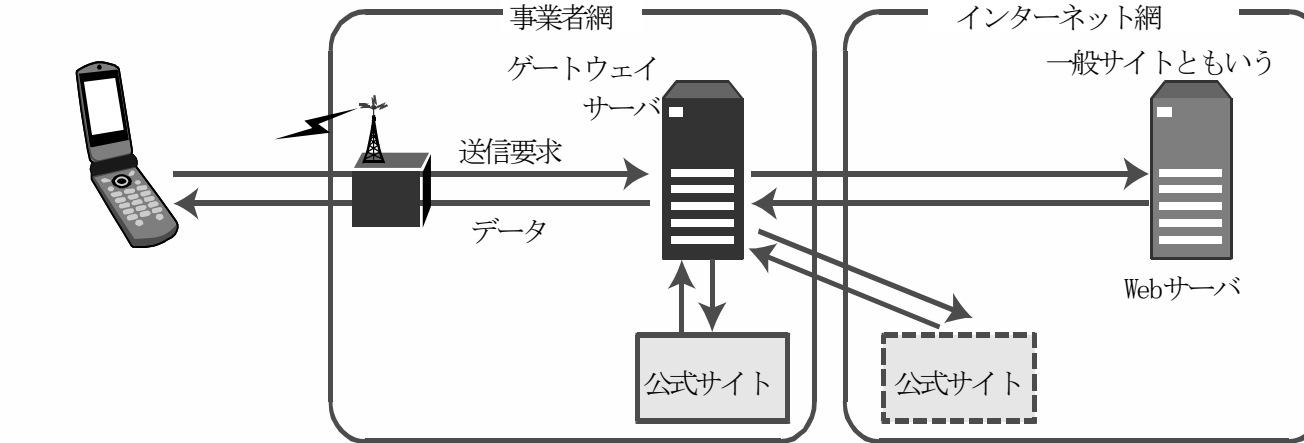
ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



これにより、コンテンツ提供者が爆発的に増えた!!!

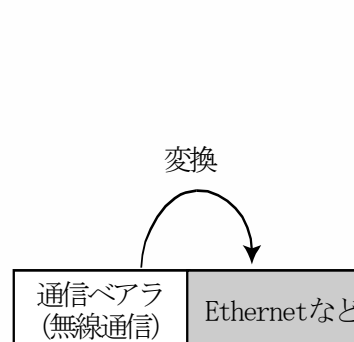
●Web機能

出典 MCPCモバイルシステム技術検定セミナー資料

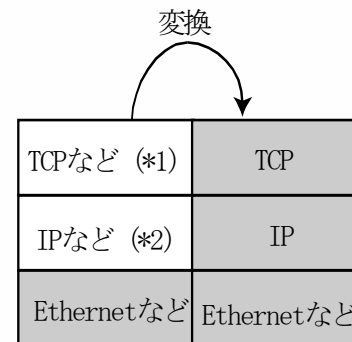


Webブラウザ
HTTP
TCPなど (*1)
IPなど (*2)
通信ベアラ (無線通信)

携帯電話内部のソフトウェア



交換局でのベアラ変換



ゲートウェイでのプロトコル変換

Webサーバ
HTTP
TCP
IP
Ethernetなど

Webサーバが動作するソフトウェア

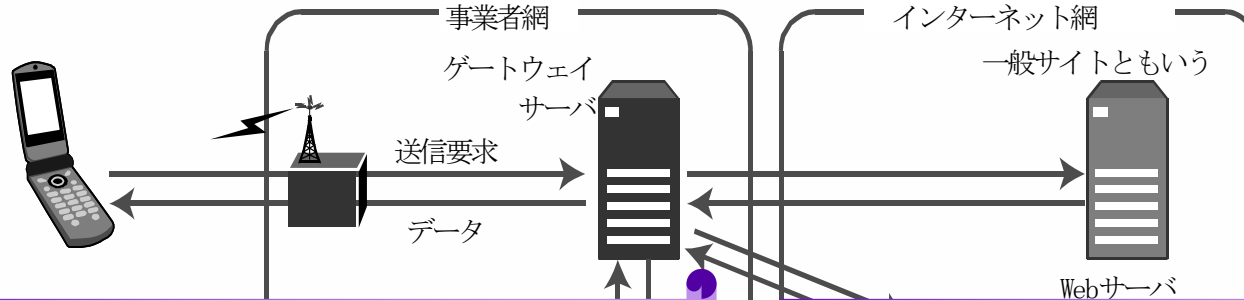
Androidに当てはめてみると...

ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



今まで開発できなかった領域が、慣れ親しんでいる開発手法でオープンになった

●Web機能



この範囲は事業者独自
プロトコル

この範囲はインターネット
プロトコルスイート

Webブラウザ
HTTP
TCPなど (*1)
IPなど (*2)
通信ベアラ (無線通信)

携帯電話内部の
ソフトウェア

通信ベアラ (無線通信)	Ethernetなど
-----------------	------------

交換局でのベアラ変換

TCPなど (*1)	TCP
IPなど (*2)	IP
Ethernetなど	Ethernetなど

ゲートウェイでの
プロトコル変換

Webサーバ
HTTP
TCP
IP
Ethernetなど

Webサーバ
ソフトウェア

コンテンツの作り手はWebサービスで提供可能

Androidに当てはめてみると...

■ ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



Androidのブレークする予感？

- Andoirdの現在は、Ezwebやiモードの携帯ブラウザ初期と似ている

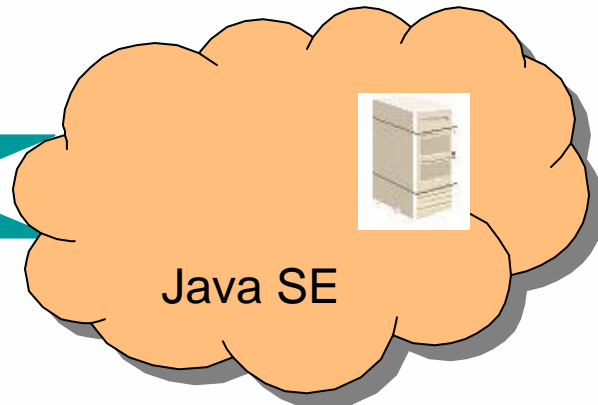
■ Android以前の携帯開発



■ Android以降の携帯開発



Android



Java SE

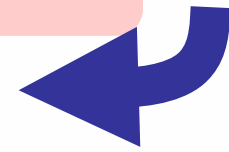
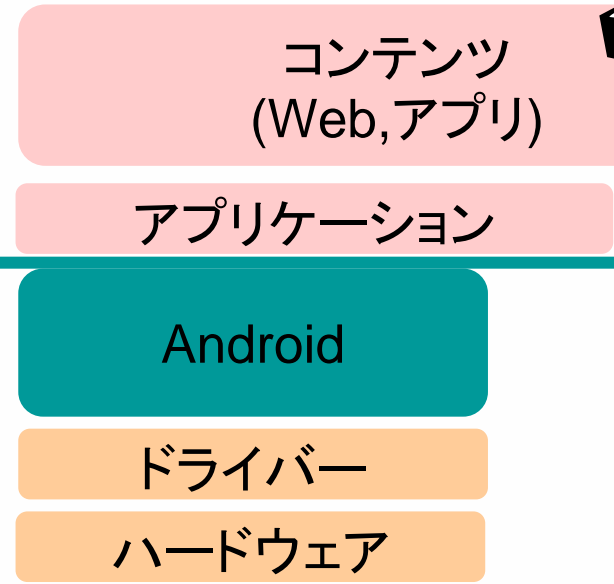
ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



プラットフォーム以前



プラットフォーム以降



Open

独自
組込手法

アーキテクチャ
開発抽象レイヤー

ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



プラットフォーム以前



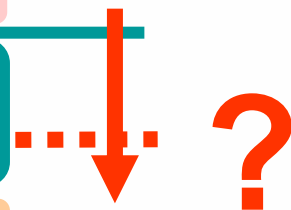
アーキテクチャ
開発抽象レイヤー

プラットフォーム以降



Open

独自
組込手法



ケータイブラウザ初期を彷彿とさせる



■ まとめ

- iモードやEZwebは事業者ビジネスをインターネット側にも出した
 - 一般サイト(勝手サイト)などのオープンなビジネスの創出
- Androidは組込開発のクライアントアプリ開発環境をオープン化した (組み込み開発デバイスの解消、または聖域?の開拓)

■ あれれ?

- Androidは事業者ビジネスのオープン化にはなっていない
 - なんと「いいな」という理想である
- あくまでも技術的なプラットフォームをオープンにする可能性をもつ選択肢の一つ

	技術	ビジネス
iモード	○	○
Android	○	?

Androidで可能だが
外的条件が必要なもの



いきなりココダケ雑談 閑話休題

■ 人の外と人の中

■ 属人機 人の側にある機器である

- 進化すると体内に入るべき装置と考える
- ネットワークと人との接点
 - マンマシーンインターフェイス
 - ユーザビリティ
 - 品質(停止したら死に至る?)
 - 高い要求レベルにある!!
 - 高いレベルにないと役務を果たせない

■ PCは属人機にならない

- 接している時間が限定的
- 代替えが効く



■ サービスレイヤーの違い



組込機器の存在意義



洗濯機



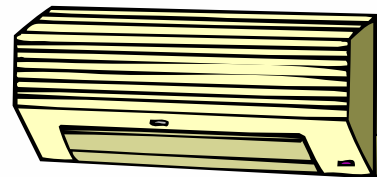
洗濯物をキレイにする



テレビ



放送を表示する



エアコン



室温を調整し快適に



電話



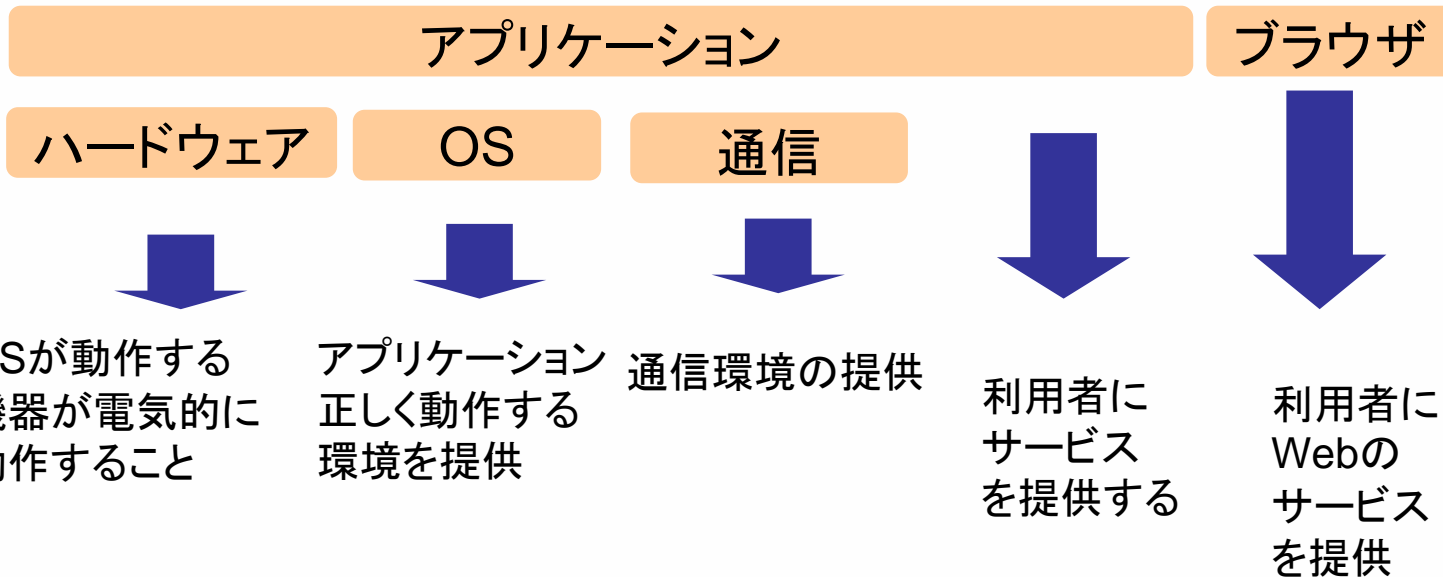
電話で会話ができる

組込は最終的に求める動作がサービスできないとならない。
機能要件が明確であり、それを保証しないとその機器の存在意義がない!!

■ サービスレイヤーの違い



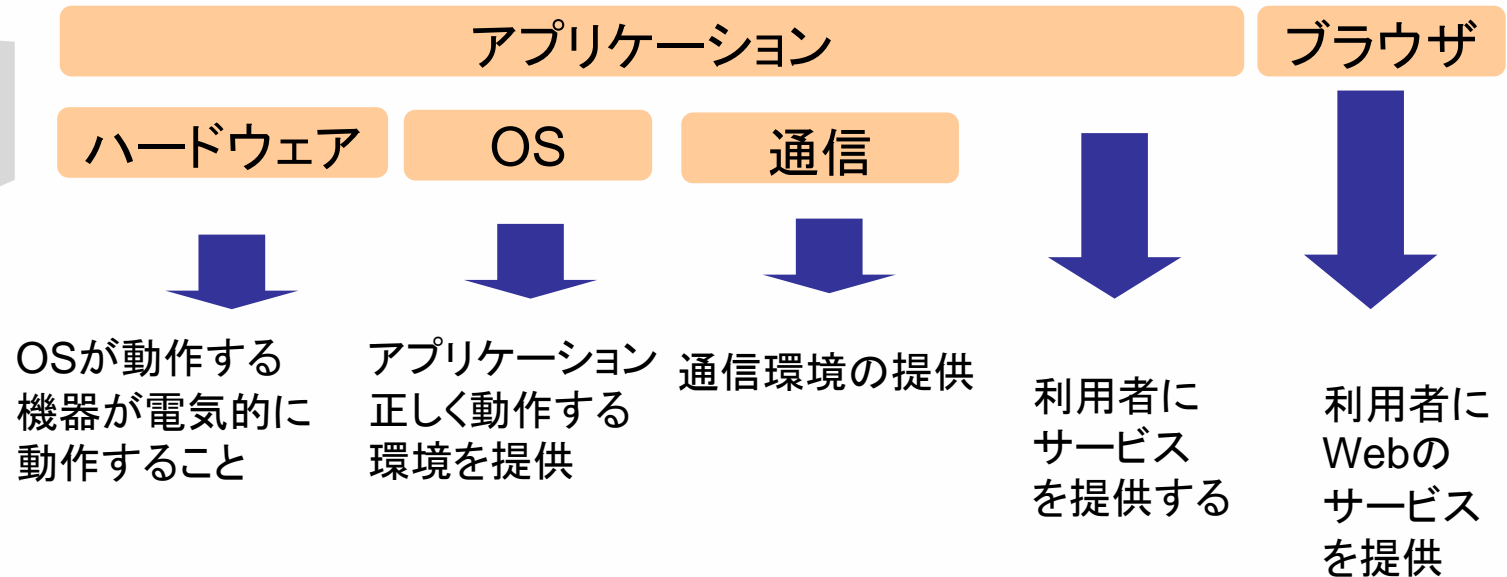
汎用装置PCの場合



■ サービスレイヤーの違い



汎用装置PCの場合



カテゴリ毎に機能・責任が分担されている

最終的にユーザに付加価値を提供するアプリケーションソフトウェアもハードやOSの部分の責任は請け負っていない。

- 責任が限定的なために保証する範囲も限定的
 - 参入がし易い
 - 付加価値の確保が難しい
- 餅は餅屋と言うように分業しているため市場が広がりやすい

■ サービスレイヤーの違い



携帯電話の場合

携帯電話は
組込である



機能は全て
保証すること

■ サービスレイヤーの違い



携帯電話の場合

携帯電話は
組込である

ハードウェア



機能は全て
保証すること

ものすごい検査費用です

- メール
- 音声発信
- 電話帳
- データフォルダ
- ブラウザ
- FeliCa
- カメラ
- ムービー
- GPS
-
-
-

■ 全ての状態を検査する勢いである

■ サービスレイヤーの違い



携帯電話だけの話でなかった

携帯電話は
組込である



機能は全て
保証すること

携帯通話機能

発着信
できること

携帯ブラウザ

正しくWebが
表示できること

■ サービスレイヤーの違い



携帯電話だけの話でなかった

電話機

通信会社
サービス

携帯電話は
組込である



機能は全て
保証すること

サービスは
保証すること

携帯通話機能

発着信
できること

携帯ブラウザ

正しくWebが
表示できること

■ サービスレイヤーの違い



携帯電話だけの話でなかった

電話機

通信会社
サービス

携帯電話は
組込である



機能は全て
保証すること

サービスは
保証すること

通話サービス

携帯通話機能

発着信
できること

課金・基地局
圏外含めて
正しくサービス
できること

ブラウザ
情報サービス

携帯ブラウザ

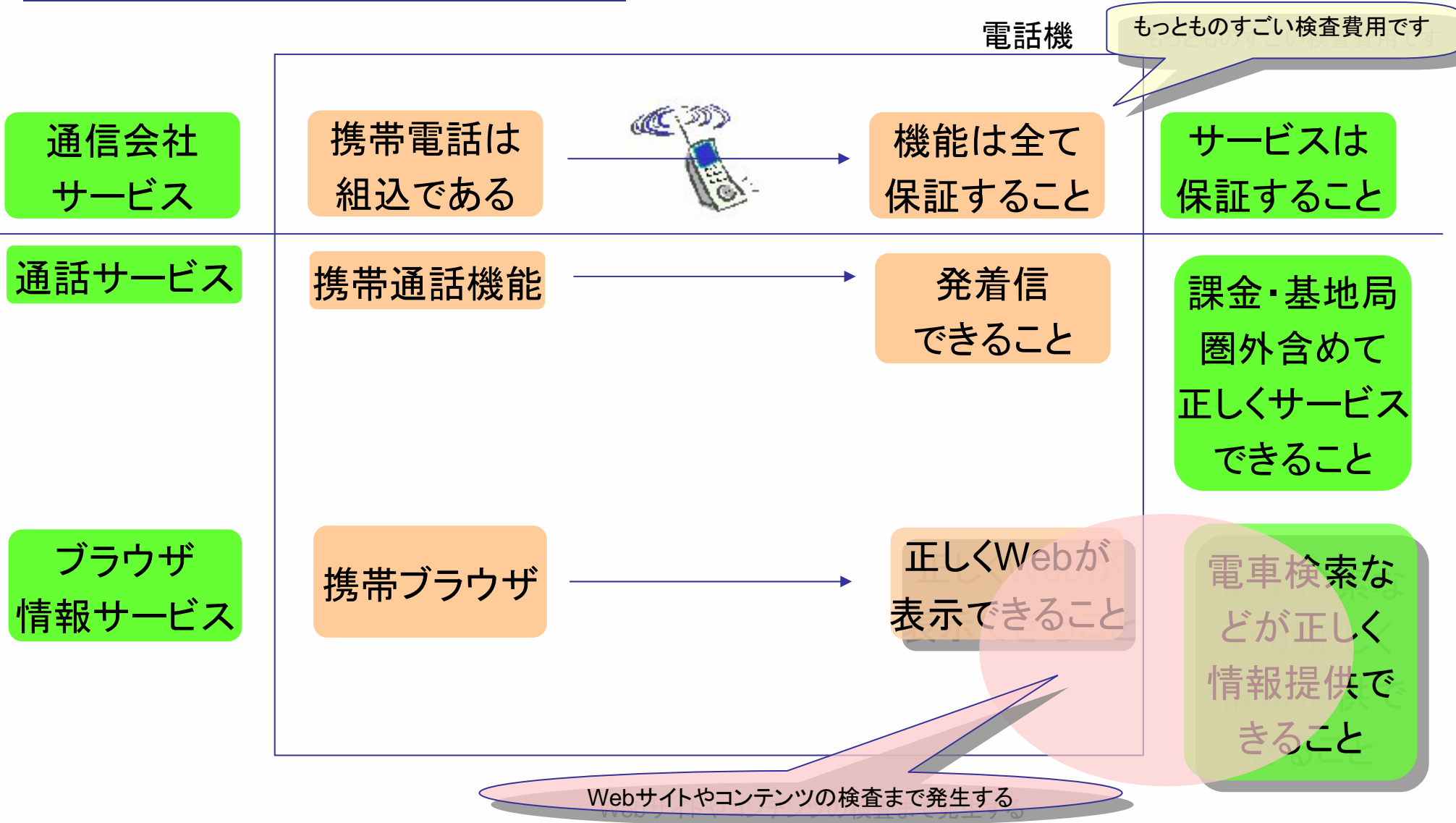
正しくWebが
表示できること

電車検索な
どが正しく
情報提供で
きること

■ サービスレイヤーの違い



携帯電話だけの話でなかった



■ サービスレイヤーの違い



Androidはサービスレイヤーをどう変える？

■ 組込機器サービスレイヤーからの脱却

■ 組込機器にPCの考え方を導入

■ Androidは組込機器に「責任を分担する」サービスレイヤーの技術な仕組みを提供するプラットフォームなのである

→
今までは技術的にもできなかった。
一つの会社で一つのソフト固まりを
作って保証していたところから分業
できる抽象レイヤーの実現。

Androidで可能だが
外的条件が必要なもの

■ 電話会社のサービスレイヤーはAndroidとは別の話

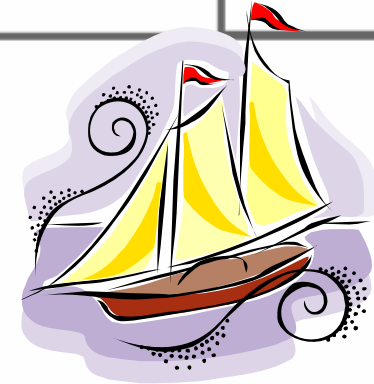
→
どこのサービスレイヤーで開発するかは
市場次第。

無論従来携帯電話会社のサービスレイヤ
でもAndroid携帯は作れる。その時には開発
費の面からもAndroidを使ったダウンロード
なし携帯？ そんなの欲しい？
そうなることへの危機感

Androidは関係なく
外的環境が変わることで
実現したいこと
(理想・希望)



■ Androidは良く「黒船」と呼ばれる



■ じゃあ何を自由化するのか? 求めているのか?

■ ペリーは何を言う?



?

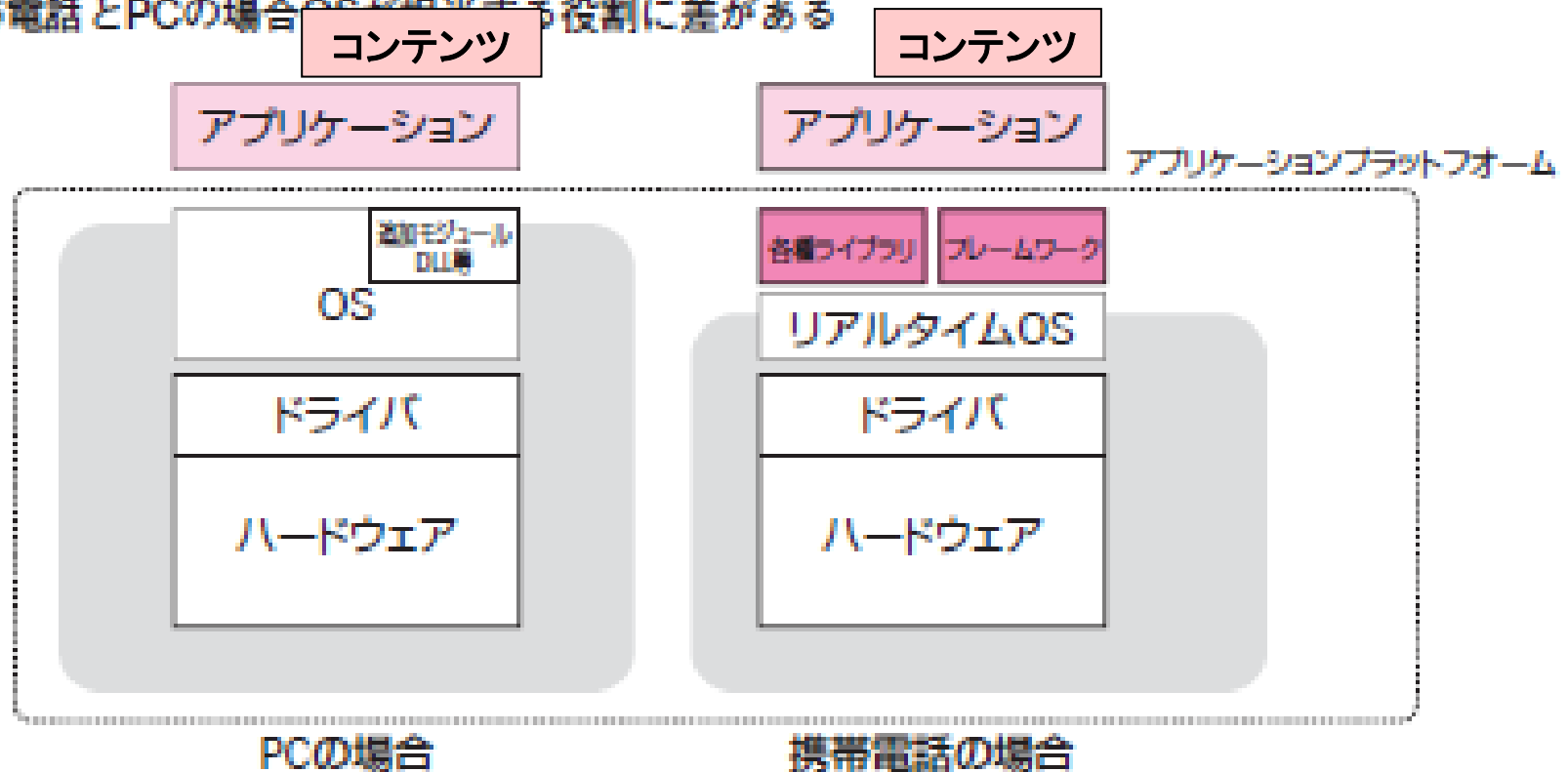


携帯電話のプラットフォームを理解しよう

PCがオープンと仮定しています

 図1.18 携帯電話とPCのプラットフォームの違い

携帯電話とPCの場合OSが相当する役割に差がある



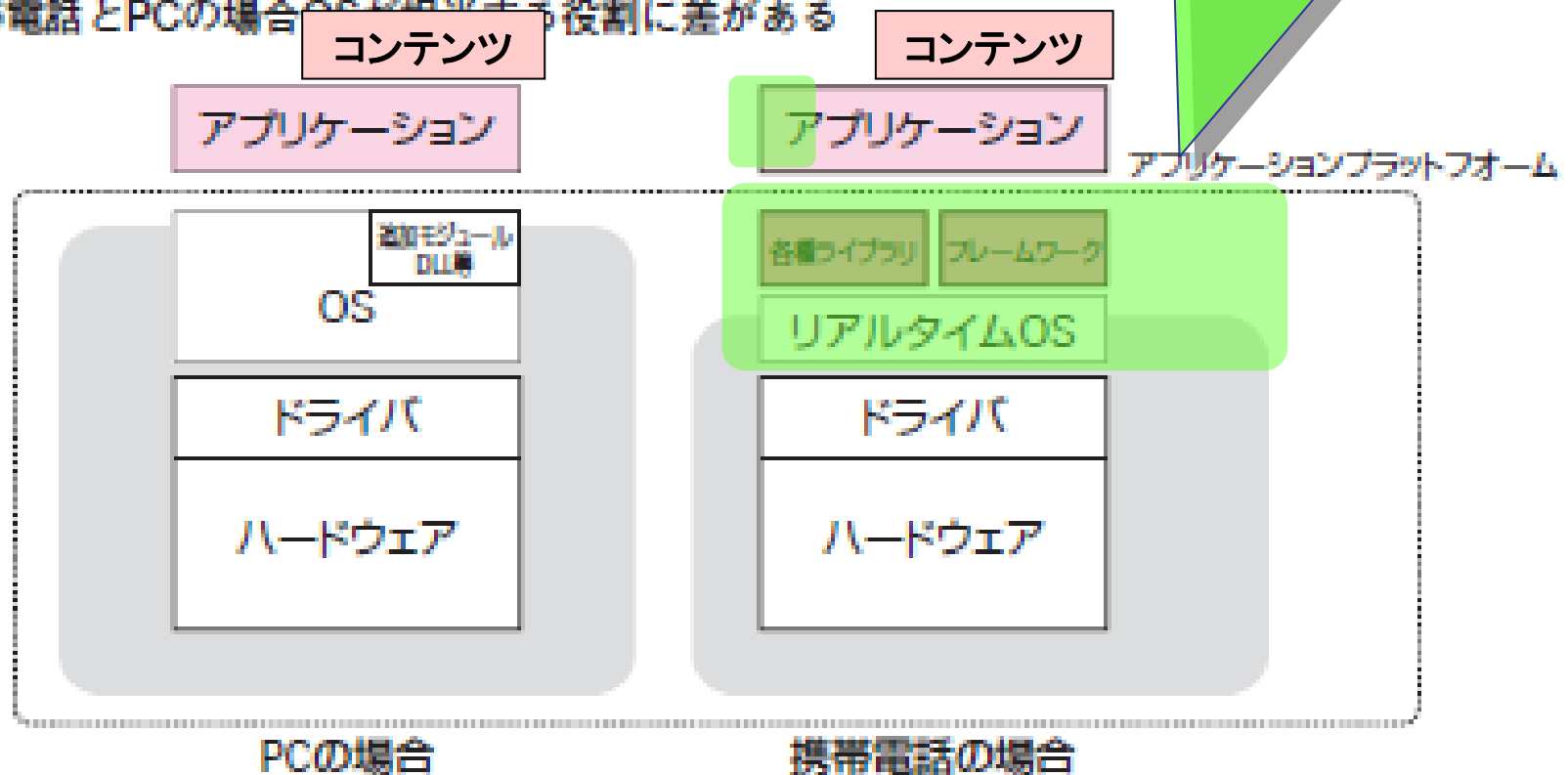


携帯電話のプラットフォームを理解しよう



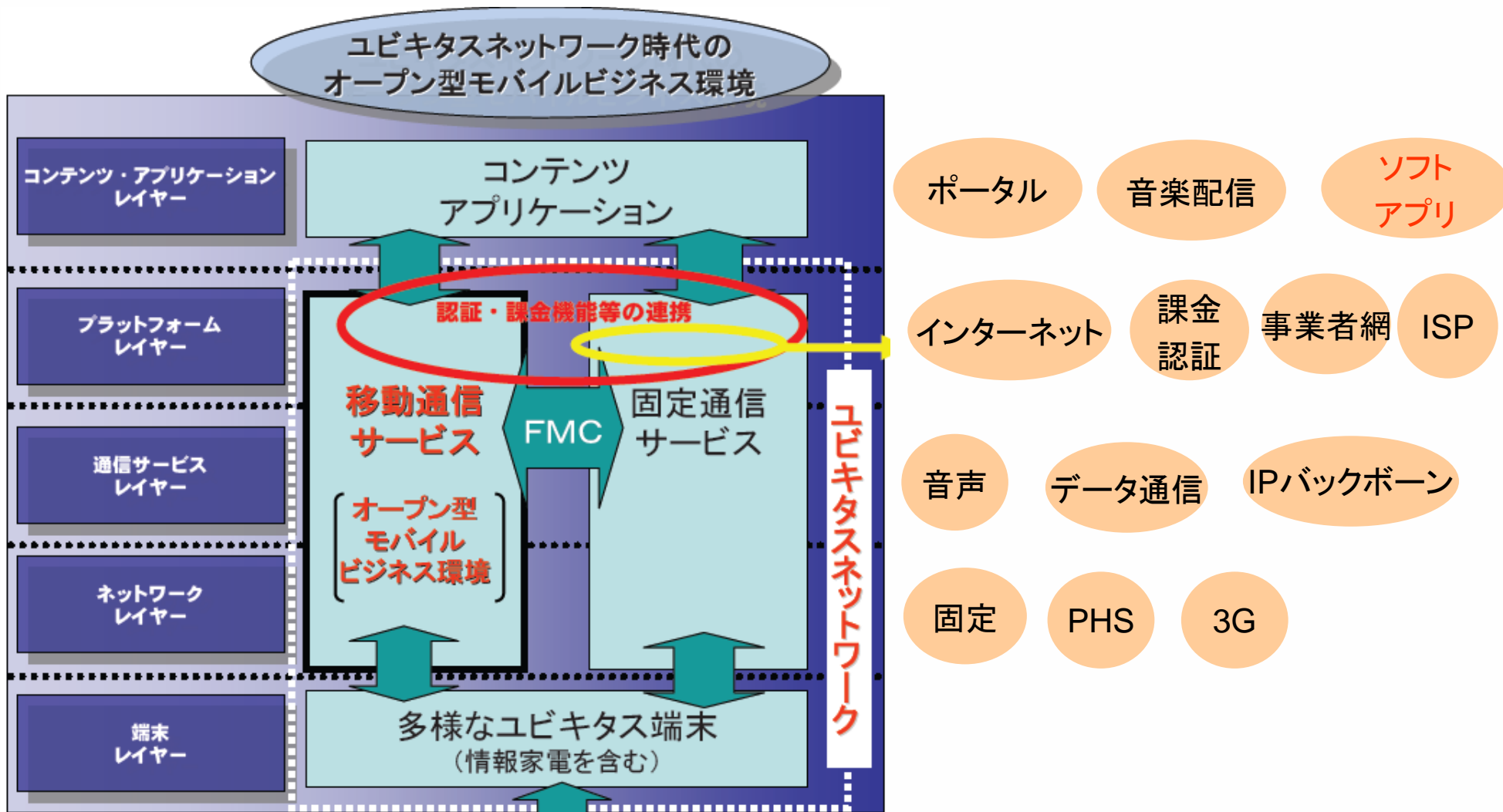
図1.18 携帯電話とPCのプラットフォームの違い

携帯電話とPCの場合OSが果たする役割に差がある





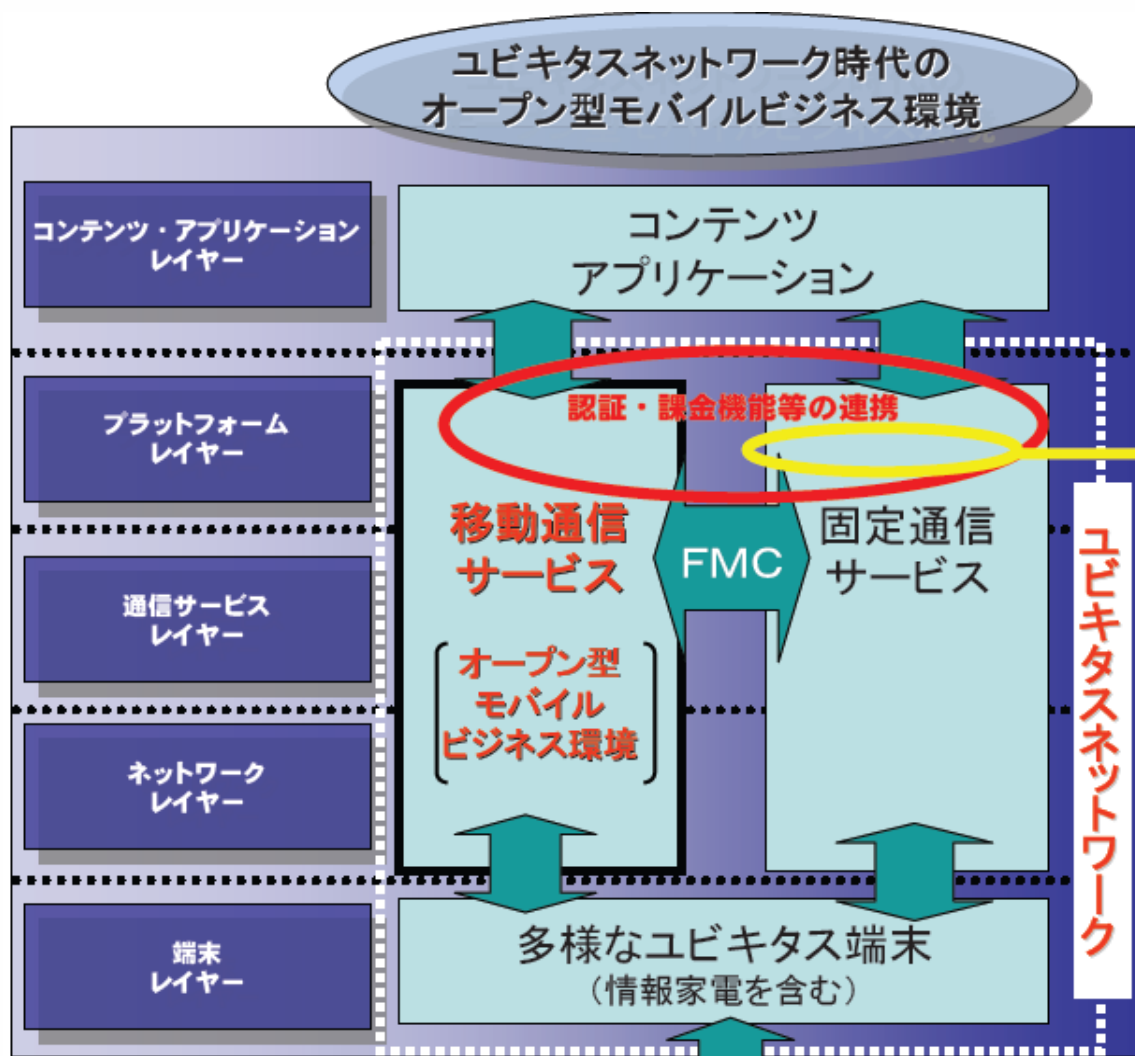
垂直統合と水平統合



出典: 総務省モバイルビジネス研究会



垂直統合



A電話会社

B電話会社

C電話会社

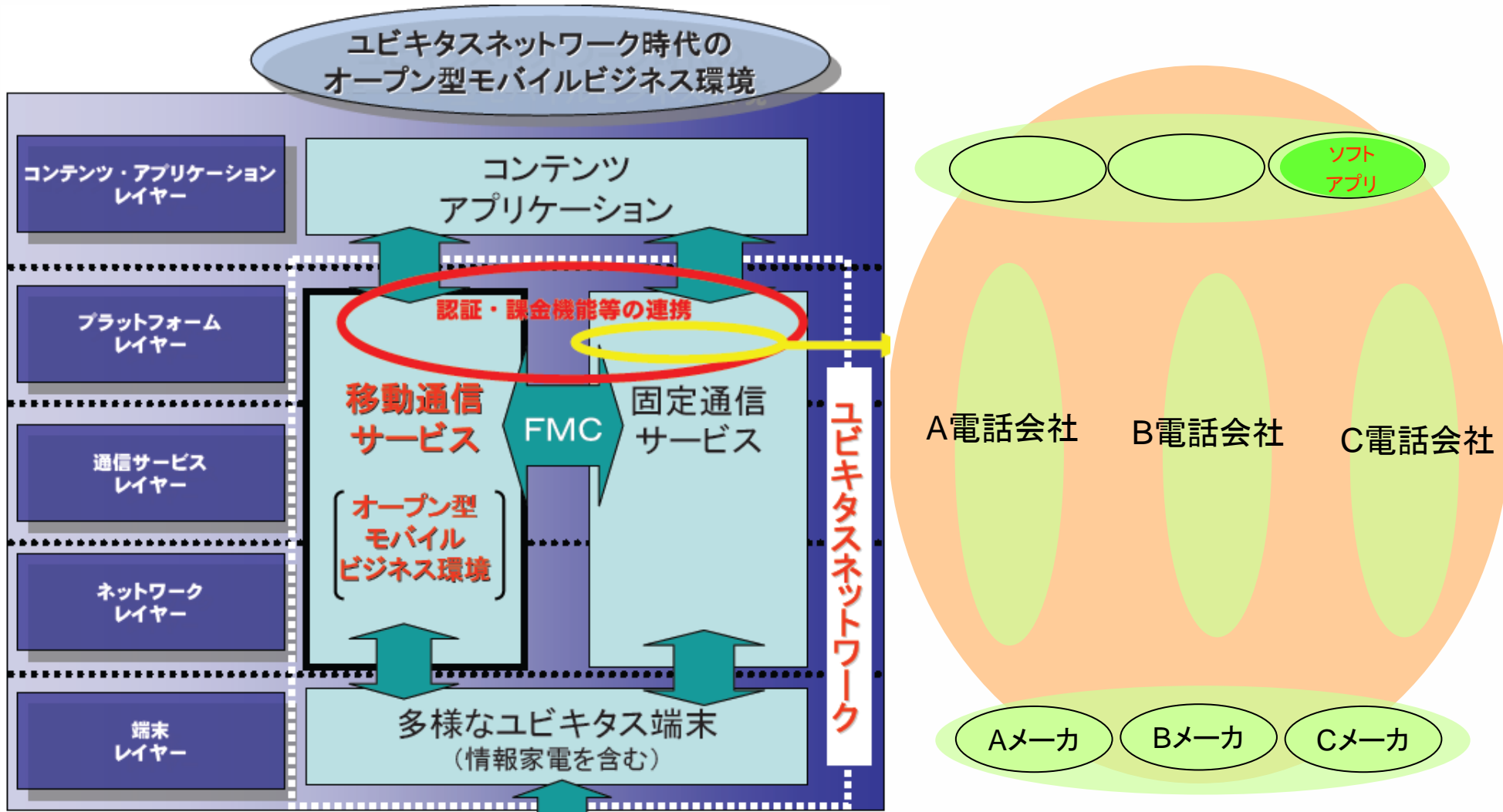
サービス
レイヤー

サービス
レイヤー

サービス
レイヤー

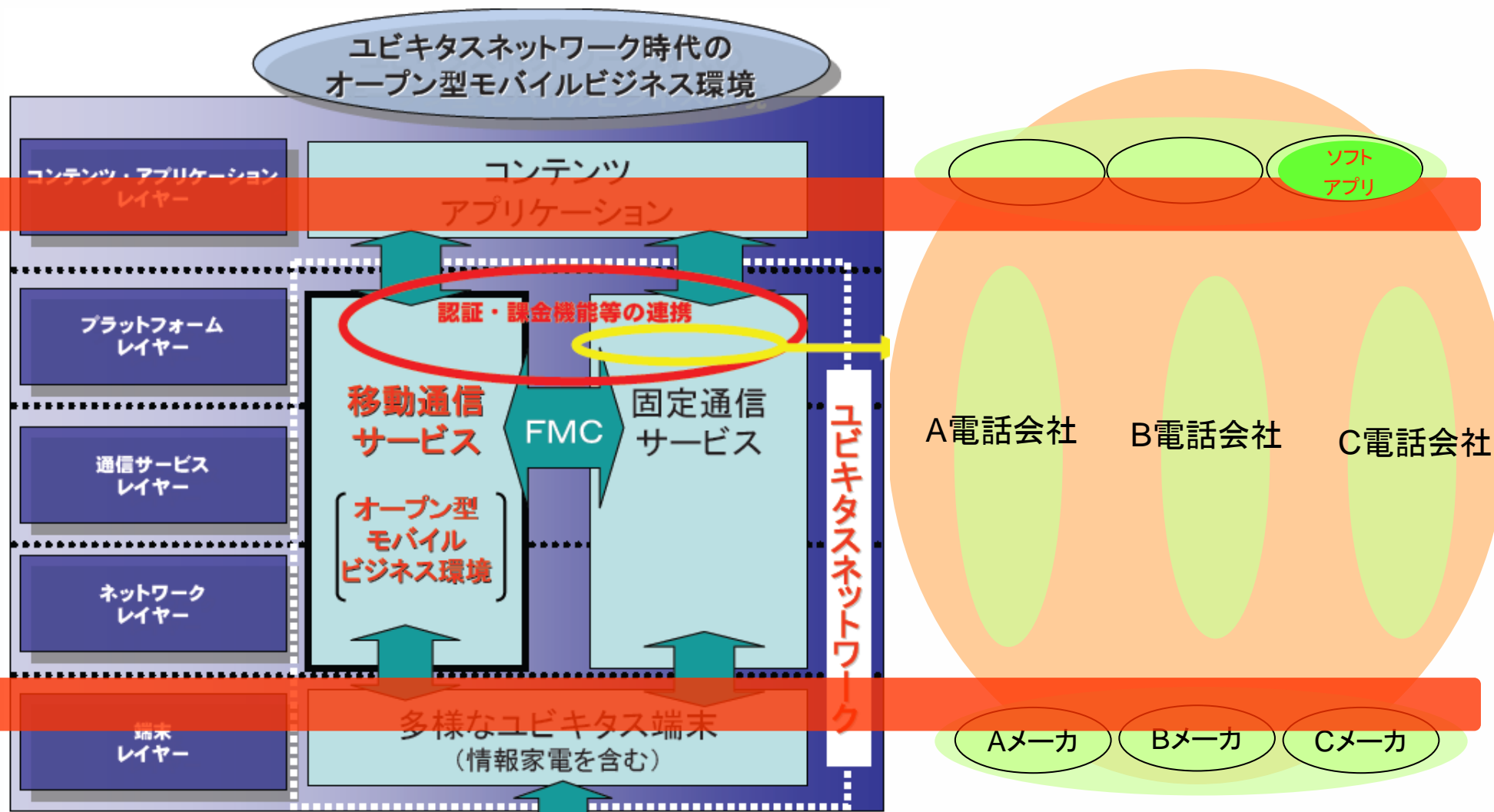


垂直統合から水平へ





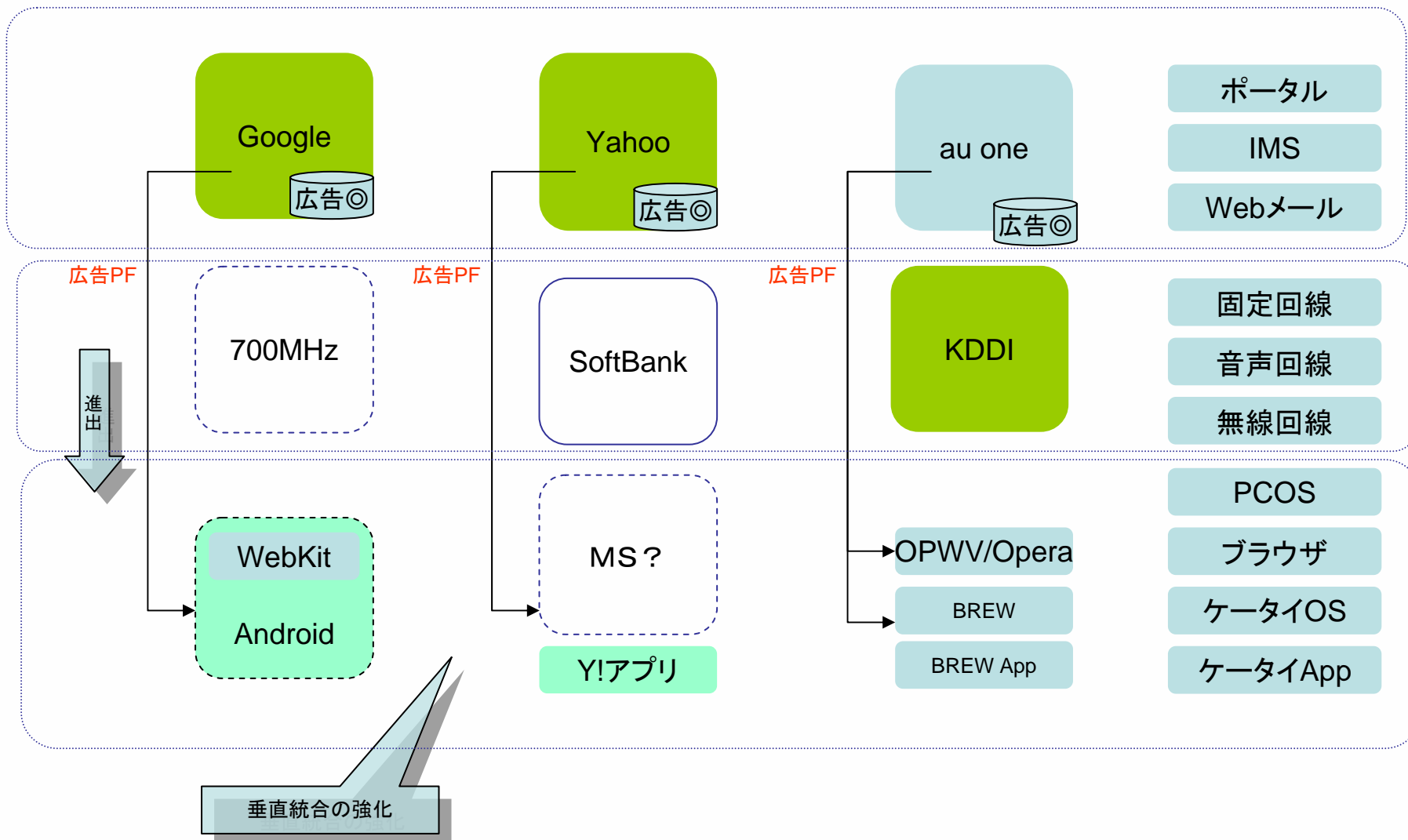
Androidが活躍できるオープン領域





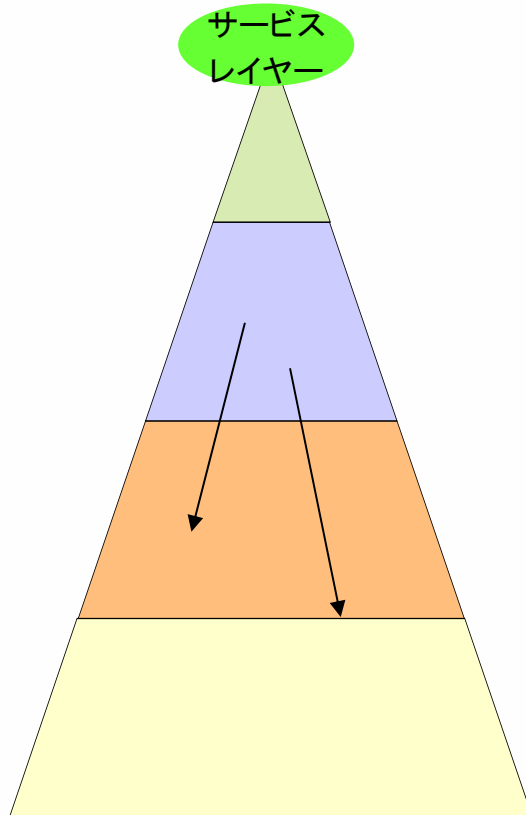
実は海外は垂直化に流れている

■ 旗振が通信会社ではないところがポイント





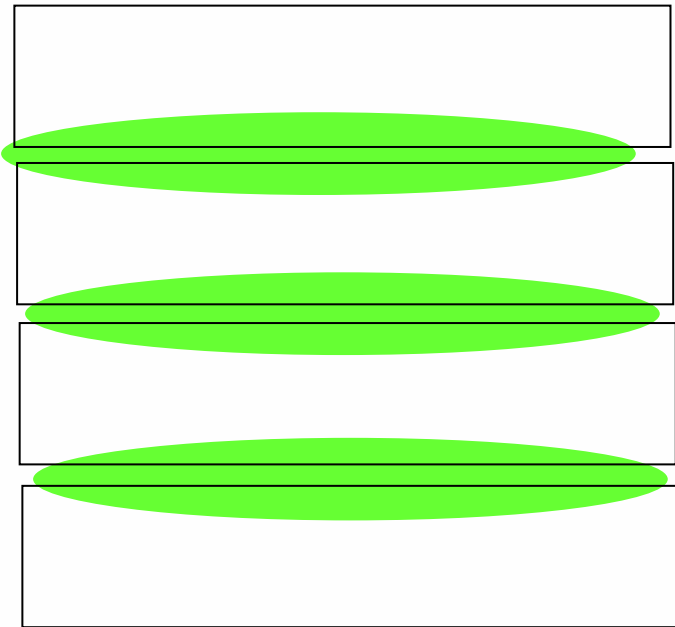
垂直方式は付加価値が高い



- 垂直方式は付加価値が高い
 - サービスレイヤーが集約
 - 収益の分配方式
- 車産業も典型的な垂直統合
- 規模が大きいため参入が不可



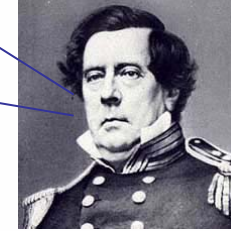
水平方式は付加価値は分割される



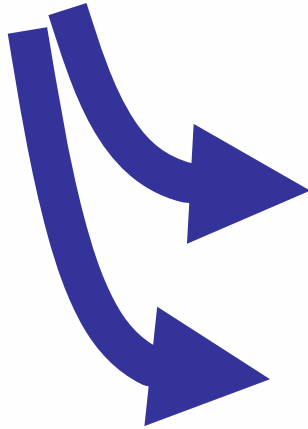
- 水平は分業化する
 - 専門家が専門の業務に専念
- 総務省が推進している
- 各カテゴリーの業者が等しく利益を得る。同時に利益も分配するので付加価値が低く見積もられる。
- Androidが実現できる部分とは
 - 特にプラットフォームにおいて
 - アプリケーションの動作環境
 - ソフトウェアの配信環境



■ Androidが自由化できる範囲は？



アプリケーションの水平展開



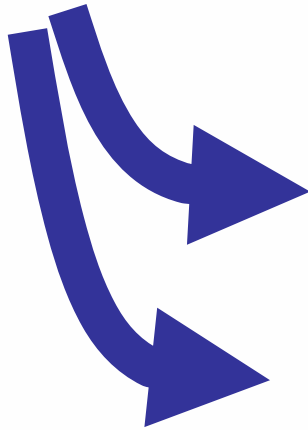
■ Androidの実力として実現できるスペックを持っている

■ Android自身は水平統合に市場を導く能力はない



■ Androidが自由化できる範囲は？

アプリケーションの水平展開



■ Androidの実力として実現できるスペックを持っている

■ Android自身は水平統合に市場を導く能力はない

■ 水平統合に導く原動力は？

総務省の方針

OHAでの賛同

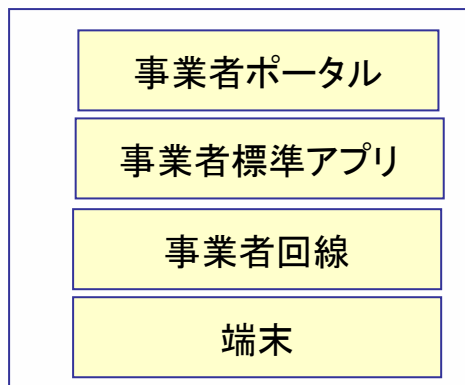
Androidアプリ魅力が出れば？

■ コレデス



- 勝手Androidアプリが広がれば、もともと携帯電話で行われているサービスよりも魅力的になる
 - マッシュアップが活発に行われて盛り上がる必要がある。オープンならでは実現できる。
 - Androidアプリ作る人が沢山出てくる必要がある
 - まずは入り口、入門してくれる人を増やしたい

事業者サービス



サービスの付加価値が大きくなれば移行する



■ マッシュアップで
どんどん新しい
有益なアプリが
登場するようにな
ればカワルかも!



ガンバレー



電話会社
サービスレイヤー

- Android対応
 - 電話会社の広がり
 - ラインアップの増加
 - 魅力有るサービスでビジネス創出

エコシステム

メーカー

- Android対応
 - 移動機の増加
 - ラインアップの増加

開発者

- 魅力あるアプリの創出
- 超越したサービスアプリ
- より多くの人へ提供するサービス実現



■ Android入門を書いた理由

- そしてAndroidアプリケーションが数多く出てくる「エコシステム」なフェーズに入れるよう、裾野を広げられるよう普及活動が肝要

■ Android盛り上げていきましょう!!





Googleの解説ページとにらめっこ

The screenshot shows the Android developer website. The main heading is "Getting Started with Android". Underneath, there are several links: "Installing the SDK and Plugin", "Hello Android!", "Anatomy of an Android Application" (circled in blue), "Tutorial: Building a Full Android Application", "Development Tools", and "Life Cycle of an Android Application". The left sidebar contains a navigation menu with categories like "Documentation", "Developing Applications", "Reference Information", "Sample Code", "FAQs", and "Goodies".



Googleの解説ページとにらめっこ

The screenshot shows the Android developer website. The navigation menu on the left includes 'Getting Started', 'Developing Applications', 'Reference Information', 'Sample Code', 'FAQs', and 'Goodies'. The 'Getting Started' section is expanded, and 'Anatomy of an Android Application' is circled in blue. The main content area shows the 'Getting Started with Android' page, with the 'Anatomy of an Android Application' link highlighted in blue.

Anatomy of an Android Application

There are four building blocks to an Android application:

- Activity
- Intent Receiver
- Service
- Content Provider



4つだけでできているわけではないですし...



Googleの解説ページとにらめっこ

Android - An Open Source Project

Documentation

What is Android?

Getting Started

Developing Applications

Implementing a UI

Building Blocks

Data Storage and Retrieval

Security Model

Resources and i18n

Developer Toolbox

Reference Information

Sample Code

FAQs

Goodies

Android Building Blocks

You can think of an Android application as a collection of components, of various degree where you can accurately describe them as a federation of components.

Generally, these components all run in the same system process. It's possible (possible to create completely separate child processes if you need to. Such as processes transparent to your code.

These are the most important parts of the Android APIs:

AndroidManifest.xml

The AndroidManifest.xml file is the control file that tells the system what to do (receivers, and content providers described below) you've created. For instance,

Activities

An Activity is, fundamentally, an object that has a life cycle. An Activity is a chunk of UI to the user. It doesn't have to, though - some Activities never display UIs in your application.

Views

A View is an object that knows how to draw itself to the screen. Android uses a graphical technique (as you might if you're writing a game, or building some

Intents

An Intent is a simple message object that represents an "intention" to do something. It expresses its "Intent" to view the URI by creating an Intent instance and handing it to the Browser that knows how to handle that Intent, and runs it. Intents are system-wide.

Services

A Service is a body of code that runs in the background. It can run in its own process. Other components "bind" to a Service and invoke methods on it via IPC. For example, if a user quits the media-selection UI, she probably still intends for her music to play.

Notifications

A Notification is a small icon that appears in the status bar. Users can interact with notifications via SMS messages, call history, and voicemail, but applications can create their own notifications that need their attention.

ContentProviders

A ContentProvider is a data storehouse that provides access to data on the system. For example, your application can access data that other applications have exposed via ContentProviders to expose data of your own.

- AndroidManifest.xml
- Activities
- Views
- Intents
- Services
- Notifications
- ContentProviders



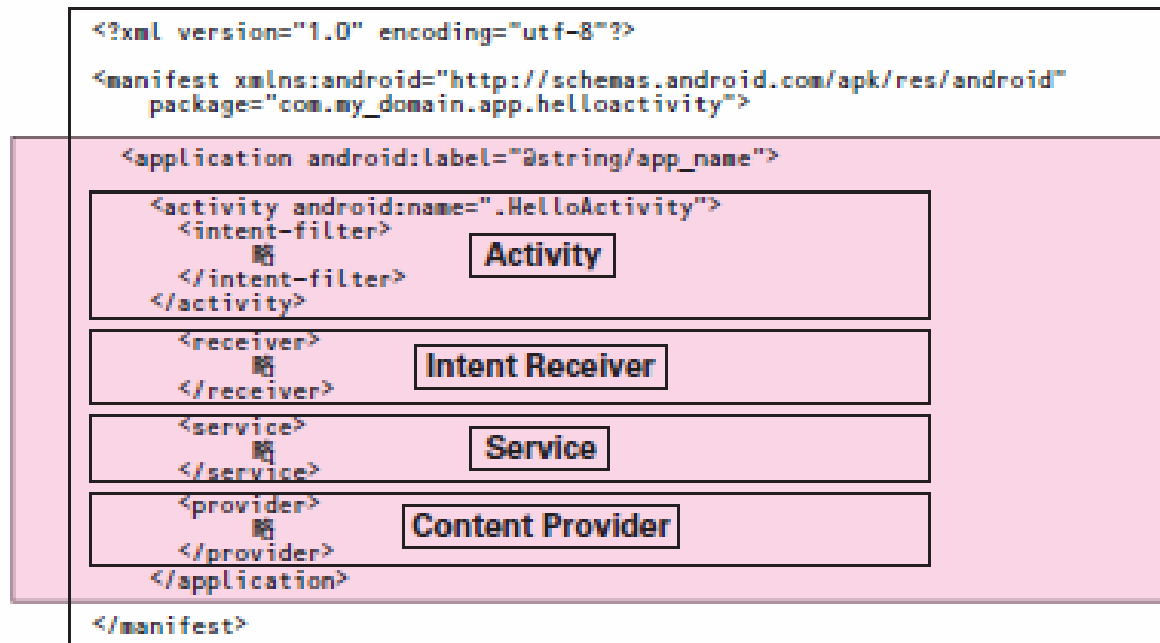
増えているし...



■ Googleの解説ページとにらめっこ

Anatomy of an Android Applicationで抽出した
4つのBlockとは

図4.2 AndroidManifest.xmlの構成



- マニフェストファイルのブロックの事でした!
- 外側にし対して振る舞いを示すため?かな



■ 時間に余裕があれば

- PCと同じようにプログラムができてしまう?
 - 表向きはそうなのですが...
 - 動作させてみると結構ツライと思います
 - 携帯電話、組込ならではの設計が必要となります
- ANRってなぜ必要だと思いますか?
 - イベントを掴んでしまうと他の処理が停止
 - 携帯電話は着信がかかったときには必ず「取れ」無くてはならない(大命題)
 - 一つのプロセスで動かしている前提でまずは考えましょう
 - プログラムの処理がイベントにより開始
 - ステップ中には割り込むことができません
 - その間音声着信の処理は待ち
 - 10秒経ったら...相手は切りますね。怒りとともに。
 - できるだけ処理は細切れに
 - 基本的に、システムから上がってくるような処理をするメソッド内部では最低限の処理だけを書く
 - システムがブロックされると痛い
 - インテントをアクティビティが受け取ってからの処理は、比較的長く取っても良い
 - 待ちプログラムは御法度
 - リセット問題について
 - ANRが発生すると一般的に携帯電話ではリセットかけます
 - 無限ループと考えた場合
 - 電話が着信できない→電話を取らない
 - 電池が流れてしまう 電池寿命やけどの心配
 - 電池が無くなってしまう ハード的に不安定で故障の心配
 - 電池が無くなってしまう そもそもその後電話がかかってきても電源OFFしているので着信無理
 - リセットのほうが利用者メリット大きいのです



■ 時間に余裕があれば

■ 作るとに大変そうな点

■ 共通動作の割り込み処理

- 全てのアプリに気にさせる?
- クラス継承で対応できる?
- 制約強制させる方法がない?

■ ユーザビリティ保護のための仕組み

- 利用中に勝手にポップアップが出る事なかれ
- メモリー不足で勝手に殺されるため、そのデータを保存する仕組み
 - いつなんぞや発生しても、亡くならないデータ保存の仕組み
- 競合・アプリケーションごとの制約の調整機構
 - アプリ的に実施する部分手ハード的に実施する部分

■ ハードウェア制約をどの程度吸収可能か?

- Cdma2000では音声とデータは同時に実施できないがW-CDMAは可能
- DSPなどの競合発生を回避するための仕組み。

(紹介)MCPCモバイルシステム検定



■ <http://www.mcpc-jp.org/kentei/index.html>

職種

The screenshot shows the MCPC website for the Mobile System Technology Examination. The main banner features the '2級公式テキスト 改訂版' (2nd Level Official Text, Revised Edition) for 3,780 yen. It also mentions the exam date: '2008年6月7日(土)・8日(日)実施' (Exam held on June 7th (Sat) and 8th (Sun), 2008). A sidebar on the left contains navigation links such as '検定試験の概要' (Exam Overview), '資格の種類とレベル' (Qualification Types and Levels), and '検定受検申し込み' (Exam Registration).

資格の種類	受検資格	必要とする知識レベル	実務への適応
シニアモバイルシステムコンサルタント	1級取得	1級資格取得後1年間以上のIT・モバイル関連業務従事経験を有し、「シニアモバイルシステムコンサルタント研修」(事例研究等)に参加、修了した場合に付与されます。	モバイルシステム構築のコンサルタントとして推奨。 システムコンサルタント 上級SE
1級 *7 (①ネットワーク ②端末・アプリケーション ③モバイルシステム)	2級取得	モバイルシステムを構成する要素について十分理解し、モバイルシステムの適応業務の内容分析、最適システムの提示、システム改善計画の提示、運用の指導を行うに必要な知識。ITスキルとしては、上級システムアドミニストレータ、アプリケーションエンジニア、テクニカルエンジニア(ネットワーク)取得者相当となります。	モバイルシステムについて顧客の要求を理解し、課題の整理を行い、最適システムを構築。システム構築、運用でのリードとして活動します。合格者はシステムエンジニア関連業務4年以上、営業5年以上の知識レベルに相当します。 システム技術者 モバイル系SE 技術管理者 情報システム部門
	無し	モバイルシステムを構成するワイヤレス通信ネットワーク、モバイル端末(ハード、ソフト)、モバイルコンテンツとサービス、セキュリティなどのモバイル関連技術についての概要を理解。ITスキルとしては、基本情報技術者、初級システムアドミニストレータ取得者相当となります。	モバイルシステムについて顧客の要求(または提案)について理解し、ヒヤリングが可能でシステム構築の概要が判るレベル。合格者はSI技術関連業務1~3年程度、営業3~4年程度の知識レベルに相当します。 モバイル関連 営業SE 技術部門 情報システム部門

メイド?



- 日本流で言えば召使い、しもべ、執事、メイド、そんなところでしょうか(萌え)。このように、アプリケーションの世界が広がる可能性を持ったプラットフォームが「Android」なのです。

リライト

- 言い換えれば、召使い、執事、コンセルジュ、メイド(萌).....そんなところでしょうか。このように、アプリケーションの活用方法が広がる可能性を持ったプラットフォームが「Android」なのです。

メイド?



■ 1章 P.3 中段

- 日本流で言えば召使い、しもべ、執事、メイド、そんなところでしょうか(萌え)。このように、アプリケーションの世界が広がる可能性を持ったプラットフォームが「Android」なのです。

リライト

- 言い換えれば、召使い、執事、コンセルジュ、**メイド(萌)**.....そんなところでしょうか。このように、アプリケーションの活用方法が広がる可能性を持ったプラットフォームが「Android」なのです。

しっかりメイドに
萌えるようになりました

メイド?



■ 1章 P.3 中段

- 日本流で言えば召使い、しもべ、執事、メイド、そんなところでしょうか(萌え)。このように、アプリケーションの世界が広がる可能性を持ったプラットフォームが「Android」なのです。



- 言い換えれば、召使い、執事、コンセルジュ、**メイド(萌)**.....そんなところでしょうか。このように、アプリケーションの活用方法が広がる可能性を持ったプラットフォームが「Android」なのです。

しっかりメイドに
萌えるようになりました

その結果...

注: 日本語的に

メイド?



索引に載ってしまいました 汗;

69	プロセス
31	ポーティング (porting)
147	
160	■ マ～ヤ行
159	待ち受け画面
151	マニフェストファイル
43	ミュージックプレイヤー
133	メイド
120	名使い
212	メソッド
72	文字列
73	文字列リソース
39	戻る動作



■ ご静聴頂きましてありがとうございます